

EPAの補給によりADHD児の教師評価行動および反抗症状が改善される 2/9

ADHDにおけるEPAに関するRCT

オメガ-6のオメガ-3脂肪酸(FA)に対する比率、特にAA/DHA比は、膜流動性に対し重要と思われる(11)。最近、さらにグリア細胞に対するこれらLCPUFAの重要性が証明されている(13)。オメガ-6とオメガ-3との間の比率は、これらが同じデサチュラーゼとエロンガーゼ酵素システムに対し拮抗するため、特に興味深い。そのため、オメガ-3 FAの欠乏やオメガ-6 FAの過剰摂取はオメガ-6 FAに有利なように代謝に作用し、そのために脳におけるDHAおよびEPA両方の利用能がさらに低下しうる。

オメガ-3 LCPUFAが多くの神経発達障害・精神障害において役割を果たしているというエビデンスが増えている(14)。ADHDと同様に、失読症(15)、発達性協調運動障害/協同動作障害(DCD)(16)、自閉症スペクトル(17, 18)は一連のオメガ-6/オメガ-3障害スペクトルに関連している可能性がある。ADHD症状のある小児におけるLCPUFA補充に関するいくつかの研究が行なわれている(4, 16, 19-29)。オメガ-6 LCPUFAを用いた初期のもの(19, 20)では、わずかな効果が示された。その後の大部分の研究では、オメガ-3およびオメガ-6 LCPUFAの併用が用いられた(4, 16, 22-28)。補給においてEPAの比率を大きくした4件の研究では改善が認められたが(16, 23-25)、単一のDHAでは効果がみられなかった(29)。最近の報告では(21)、ADHD評価スケールにおける低スコアが、オメガ-6と比較した場合の低オメガ-3状態と関連していた。

いくつかの研究において(23, 28)、全体群のADHD児よりもむしろサブグループにおいて、プラセボを上回る実薬投与の有意な効果がみられている。DHA、EPA、AA、 γ -リノレン酸(18:3w6, GLA)混合物を利用した1件の研究では(28)、教師評価の注意と同様に、親評価による反抗的行動障害において改善が報告されたが、一連の他の領域に対して差は認められなかった。最新の研究(23)、スウェーデンの多施設試験では、ADHD不注意サブタイプを伴う男児サブグループがオメガ-6/オメガ-3の投与に良好に反応する傾向を認めたが、全体群の参加者において有意な結果はみられなかった。

Connersの親/教師評価スケール(CPRS/CTRS)(30)は、認知障害、多動性、反抗行動、ADHDの全般的重症度の程度について小児のADHD症状を評価するものである。治療反

応の不均一性、およびADHDにおける異質性に対し増大するエビデンスを考慮すると(31)、ADHDが、全般的パフォーマンスやCPRS/CTRSサブスケールにより測定される特異的側面に関する差と関連しているか明らかにすることが望ましいだろう。Stevensら(28)およびJohnsonら(23)による報告に基づくと、反抗行動がみられたり、多動性が相対的に欠如している参加者で、EPA補給に対しより堅実な反応がみられると推測される。

FAの組成、方法、転帰評価項目、投与期間、生化学的測定値を使用したかどうか、により得られる結果は異なる。診断上の不一致もまた、結果の比較を困難なものとする。一部の著者らは、正式にADHD(DSM-IV)と診断された小児に関する研究の必要性、特にオメガ-3 LCPUFA(すなわち、DHAやEPA)の積極的治療としての有用性、複数の転帰評価項目に加え、PUFA状態、オメガ-6およびオメガ-3食事摂取管理に関する生化学的指標について指摘している(14)。本研究では、こうした指標を追跡し、小児ADHDの治療におけるEPA補給の特異的な効果を明らかにし、血清リン脂質および赤血球膜におけるオメガ-6およびオメガ-3 LCPUFA組成に関連させ治療結果を評価することを意図とした。したがって、目的は、ADHD複合型の小児、もしくはこれら小児のサブグループでEPA補給が有効かどうか、検討することであった。

方法

参加者

臨床診断がADHD混合型(DSM-IV基準A～Eを満たす)で何らかの神経精神系合併症のある7～12歳の小児で、薬物療法について評価されていた児が、このプロスペクティブランダム化二重盲検試験への参加を申し込むことが可能であった。スウェーデンでは、ADHDの薬物療法は通常専門医レベルで開始される。次のように合併症を評価した：反抗行動はCTRS反抗性サブスケールにより；神経運動問題(DCD)は神経運動検査により(32)；客観的多動性/衝動性は持続作業のコンピュータによるテスト(下記参照)により評価した；チック、不安、アスペルガー症候群は臨床面接により。8つの参加試験施設はすべてスウェーデンの二次治療センターであった：リンチェピング、ウプサラ、ストックホルム(2施設)、エレブル、エンシェピング、カルマル、マリーエスタドの大学の児童青年精神科(CAP)および小児科/地域病院。データは2005年1月～2007年6月の学期に収集した。

Product on the Paper

MorEPA® PLATINUM

モアEPA®プラチナム

品 番：EP.002.xxx DUO
価 格：8,000円(税別)
内 容 量：30粒入り×2本/1日：1～3粒/20～60日分

最高濃度のオメガ3脂肪酸にビタミンD配合 善玉コレステロール生成を支え、情緒面もサポート

1ソフトカプセルの【モアEPA® プラチナム】で、764mgのEPAと236mgのDHAを含む、1,100mgという驚くほど高用量のオメガ3脂肪酸と、それに加えてビタミンDが摂取できます。オメガ3脂肪酸は健康な血液循環の維持に有用ですが、情緒的な健康を強化するためにもEPAは重要です。高濃度EPAのフィッシュオイルは、気分をリラックスさせ、しなやかな血管や肉体的健康の維持に有用です。特に大きな利点は、健康上良いとされる、身体の8%を超えるオメガ3レベルを維持することにあります。高含有のため1日1粒という手軽さです。

主成分含有量 (1ソフトカプセルあたり)

成分名	含有量
オメガ3脂肪酸(以下の成分を含む)	1,100 mg
エイコサペンタエン酸(EPA)	764 mg
ドコサヘキサエン酸(DHA)	236 mg
ビタミンD	7.5 µg



MorEPA® SMART FATS FISH OIL

モアEPA® スマート ファッツ フィッシュ オイル

品 番：EP.011.xxx
価 格：4,000円(税別)
内 容 量：30粒入り/1日1粒/30日分

肉体的、精神的な健康維持、健康な関節や美肌をサポート

【モアEPA®】は高濃度EPAの最も基本となるオメガ3フィッシュオイルです。血管の健康維持に大切なオメガ3脂肪酸は健康な心臓、良好な気分や情緒の安定をサポート、物事に向かう強い集中力を生み出します。精神集中に使用するフィッシュオイルに関する多くの臨床検査結果から、【モアEPA®】が脂肪酸バランスの回復に有用で、情緒の安定と集中力をサポートするという事実は科学的に証明されています。

主成分含有量 (1ソフトカプセルあたり)

成分名	含有量
オメガ3脂肪酸(以下の成分を含む)	850 mg
エイコサペンタエン酸(EPA)	590 mg
ドコサヘキサエン酸(DHA)	130 mg



Order Made Supplement Service

分包による
オーダーメイド
サプリメント
サービス！



- 患者様に合わせた指示箋ができる、オーダーメイド分包サービスです。患者様の満足度がより高くなります。
- 在庫負担がありません。
- 商品のお届けは、クリニック様お届けと患者様直送からお選び頂けます。
- ラベルデザインや容器も色々お選び頂けます。



編集後記

ダグラスニュースレターをお読みいただき誠にありがとうございました。これからも最新の臨床データ、商品情報などを正確に、また、迅速にご提供してまいります。どちら様もご意見・ご希望がございましたら編集者までお寄せください。

無断転載・転用は固くお断りいたします。

発行者：
〒135-0091 東京都港区台場2-3-2
日本ダグラスラボラトリーズ株式会社
TEL:03-5530-2212